

<多様な担い手の確保に取り組む事例>

○農村交流を通じた地域の活性化を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山形県 ^{てんどうし} 天童市 ^{たむぎの} 田麦野			
協定面積 31ha	田（100%）	畑	草地	採草放牧地
	水稻、大豆等			
交付金額 543万円	個人配分			50%
	共同取組活動 （50%）	積立て（団体の組織化、農道舗装、用排水路補修）		26%
		水路、農道等の維持・管理費（鳥獣防護柵設置、草刈り）		13%
		その他（役員手当、景観作物作付け、ビオトープ）		11%
協定参加者	農業者 42 人、非農業者 2 人、生産組織（構成員 5 人）、水利組合（構成員 68 人）			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

田麦野集落は、天童市東方の山間部に位置し、三方を山に囲われた狭隘な地形となっており、稲作が盛んな地域である。小規模経営や農業者の高齢化など地域農業が抱える課題の解決や、農業者個人の経営状況の改善をするため、当制度に取組み、集落協定を締結した。第2期対策までは、田麦野そば栽培組合を地域農業の担い手として位置づけをして活動し、転作田へのそば栽培の促進、草刈りなどの農作業の委託をしている。また、地域の特産品であるそばの振興で農業所得の向上を図るため、製粉機を活用した付加価値の高い粉・蕎麦での販売を行った。

3. 取組の内容

前対策への取組みによって集落営農の意識は高まったものの農業者の高齢化や後継者不足など地域農業の課題を抱えている現状であり、第3期対策においても、農業の収益性を高めるため、継続して田麦野の特産である「でわかおり」を使用した蕎麦粉・蕎麦の新たな販路の開拓や販売額の増加を目指す。また、集落内にある交流施設「ぼんぽこ」にて開校の県内外の方を対象とした『ぼんぽこ塾』を通じた組織づくりを行い、農作業体験を実施している。開校にあたり県内の大学生も参加しており、若い人達との交流をして多様な担い手の確保に繋げる。学生が集落へ入ってきてからは、野菜作り等で高齢者がいきいきとしており、地域の活性化へも繋がってきている。



【田麦野の風景】



【ぼんぽこ塾生による農作業】

〔集落の将来像〕

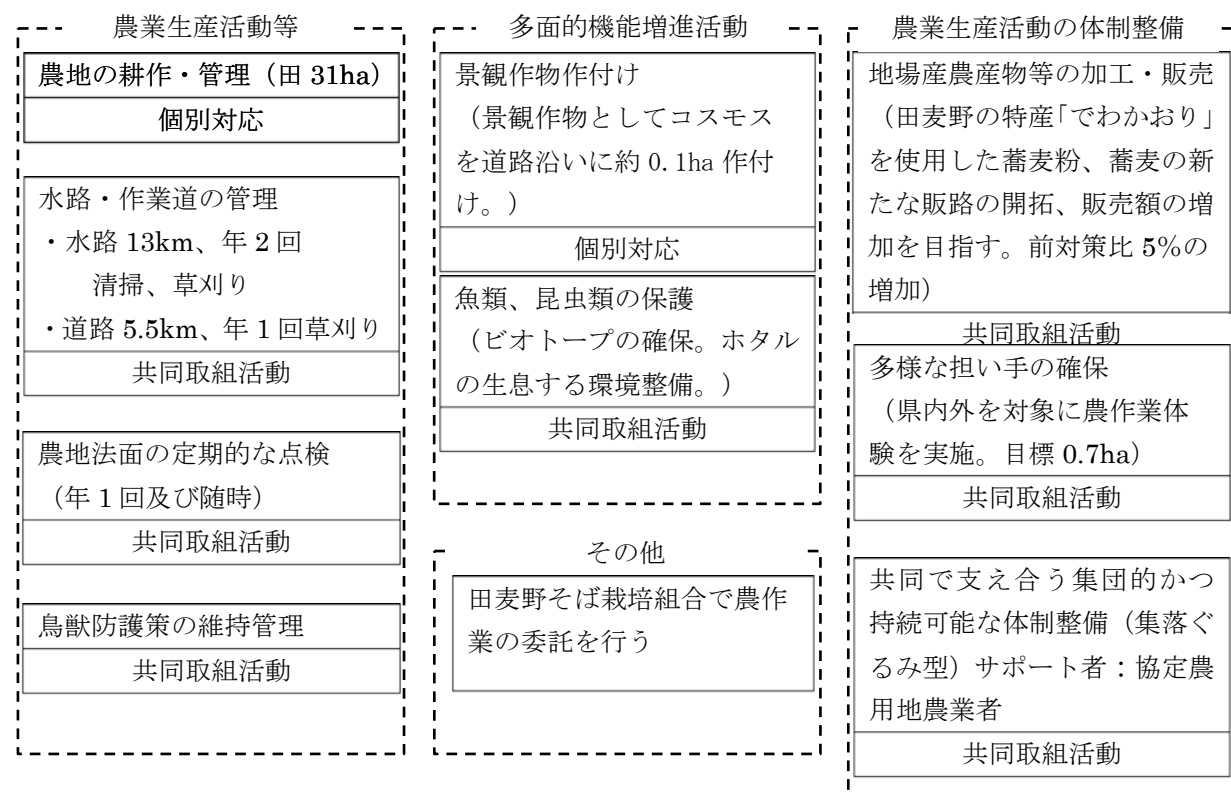
○ 高齢化や後継者不足により、将来、個人対応では集落農業の維持が困難となることから担い手を育成する環境を整え、集落内の農地を保全する体制を整備し、集落ぐるみで農業生産活動等の維持を図る。

また、自治会や地域づくり委員会と連携し、農村景観などの資源の活用や、地場農産物の販売促進・販路拡大、県内外の方を対象にした農作業体験などの事業を展開しながら交流を促進し、集落全体の活性化を図る。



〔将来像を実現するための活動目標〕

○ 蕎麦の栽培面積の拡大、生産量の増加を図り、地場産農産物の販売・販路拡大、販売額の増加を目指す。県内外の方を対象に農作業体験を実施し、交流を通じて多様な担い手の確保を推進する。



集落外との連携

○ 田麦野地区自治会や地域づくり委員会と連携しながら、農業・農村が持つ多面的機能の持続的な発揮に向けた活動を実施することで、集落全体の活性化を推進する。

4. 今後の課題等

今後も、担い手を育成する環境を整えながら集落営農の確立を目指す。また、集落外との連携により農村景観などの資源の活用や都市住民との交流を促進し、集落全体の活性化を目指す。

〔第 2 期対策の主な成果〕

- 高付加価値型農業の推進として、ネギ・食用菊の栽培（H17:0ha、H21 実績:1.0ha）
- 非農家（5 名）との連携による景観形成づくり作業、地域の活性化（コスモスの植栽 0.1ha）
- 都市住民との交流促進 ・ 1 日そば屋の開催（参加者 約 300 人）